

# 27E-pm04

## 薬学生を対象とした医学薬学専門英語の指導と学習効果の検証

○天ヶ瀬 葉子<sup>1</sup>, スミス 朋子<sup>2</sup>, 野口 ジュディー<sup>3</sup> (<sup>1</sup>同志社女大薬 病態生理, <sup>2</sup>大阪薬大 言語文化学, <sup>3</sup>神戸学院大 グローバルコミュニケーション)

【目的】薬学英語において英語専門用語の習得は重要であるが、多数の専門用語を暗記するのは英語が専門ではない薬学生にとって現実的ではない。多くの医学薬学専門用語がラテン語ギリシャ語由来の接頭接尾辞(affix)を含むことから、これらを覚えることで新出の専門用語でも意味を類推できるようになることを目標にこれまで指導を行ってきた。今回は affix を含んだ専門用語のうち、既習のもの、未習のものとの間の理解度の差を比較し、affix 教育の効果の検証を行った。

【方法】2大学の薬学部2年生約75名、3年生約180名に対し、340程度の affix を8回に分けて自己学習させ、8回の小テストで習得度を測った。自己学習教材には、affix とそれぞれの affix を含む単語のリストと、無料の学習アプリ Quizlet が含まれる。小テストに出題されている単語の半分は自己学習教材に含まれるが、半分は未習のものとした。

【結果・考察】既習の単語と未習の単語との得点平均を比較した。既習と未習の得点に差はなく、affix 単語の理解と習得により専門用語の意味を類推できていると考えられる。